

支援カンパにご協力を!

「平成28年熊本地震」 被災者支援へカンパを実施

情報労連は4月18日に中央闘争委員会を開催し、熊本・大分で断続的に発生している地震に関して、被災者支援カンパの展開を決めました。皆様の温かいご支援をお願いいたします。

4月18日に開催
した第2回災害対
策会議



災害対策本部を設置 被災者支援に取り組む

熊 本県で4月14日に震度7の大地震が発生し、その後も16日未明にマグニチュード7.3の地震が発生するなど、熊本・大分で強い地震が相次いでいます。一連の地震により大きな被害が出ており、4月19日までに死者は47人となり、避難者は約12万人にのぼっています。インフラや家屋の倒壊などの被害も甚大で、避難生活の長期化も予測されています。

情報労連は地震発生の翌日15日8時30分にNTT労組と合同で「平成28年（2016年）熊本地震中央災害対策本部」を設置。組合員・家族・退職者の安否確認などに取り組んでいます。また、4月18日には支援物資として飲料水65箱（2L×390本）とウエットティッシュなどを被災地に発送しました。今後も当該県協などと連携し、必要



壊れた自宅から荷物を運ぶ女性たち。（17日、熊本県益城町、写真提供・共同通信）

な支援を展開していきます。

■支援カンパを展開へ

情報労連は4月18日に中央闘争委員会を開催し、熊本・大分で断続的に発生している地震に対して被災者支援カンパを展開することを決め

ました。集約したカンパ金は、被災した組合員への支援金などに用います。カンパ活動は、5月31日までの期間に各構成組織で取り組みます。詳しくはお近くの組合役員までお問い合わせください。皆様の温かいご支援をお願いいたします。